

## 024 齊藤和義家文書と目録作成について

1 本史料は、福島村（現須坂市福島町）の南部、北国街道松代通り沿いに位置する齊藤家の名主文書が中心である。年貢関係史料や御条目五人組請書ほか、そのほとんどが名主齊藤長左衛門・名右衛門家に関わる福島村関係文書である。享保8年（1723）11月の入会山関係文書を初出として、天明期～文政期（18C末～19C初頭）の史料が中心の史料群である。

北国街道と大笹街道の分岐点に位置する宿駅福島村の村民が時代を生きぬいてきた証である貴重な史料が、122点の史料群として存在している。

2 ここでは、その史料を、『須坂市域の史料目録』の連番整理番号「024」（24番目）に位置付け、『齊藤和義家文書目録』として作成する。全史料を時代の早いものからならべ、史料整理番号を「024 - 1」から開始して、整理ラベルを貼付した。

3 本史料目録が、福島町区民をはじめ多くの市民・地域史研究者によって活用されることを願ってやまない。加えて、齊藤家文書の史料調査・研究を深めて、新たな福島町区民の歴史が開拓されることを期待したい。

4 史料目録の作成にあたっては、史料閲覧者の便宜も考慮して、つぎのようにした。

(1) 史料名は原則として史料中に書かれてある表題を記載したが、無表題史料には、つぎのように（ ）をもちいて仮表題を作成し掲げた。

（船銀請取） （畑荒地調べ）

(2) 史料形態については、つぎのように略記した。

横（横帳）、 縦（縦帳）、 紙（一紙）、 封（封書）など

5 本史料目録は、齊藤和義家のご理解・ご協力を得て、須坂市誌編さん室の下記専門員が分担して作成した。

宮澤慶男（目録担当）

丸山文雄（解題・編さん担当）

2009年5月20日 須坂市誌編さん室